

～サッポロビール協賛～

「第1回文化財保護活動支援講演会&交流の夕べ」



◇演題 赤れんが庁舎と平井晴二郎

◇講師 駒木定正氏(前 北海道職業能力開発大学校建築科教授)

◇日時 平成25年7月22日(月) 講演会 午後1時00分～3時00分  
交流会 午後3時00分～6時00分

◇会場 サッポロビール博物館(札幌市東区北7条東9丁目) ※裏面参照

【趣旨】

赤れんが庁舎(旧北海道庁本庁舎)と設計者・平井晴二郎の関わりを次の3点から紹介する。

- ① 平井晴二郎は米国のレンセラー工科大学で学んだ技術を幌内鉄道、手宮機関車庫そして赤れんが庁舎に活かした。
- ② 1888(明治21)年完成の赤れんが庁舎は、日本人が設計した本格的なれんが造建築の先駆けであり、その設計のヒントを推察する。
- ③ 平井は鉄道界の重鎮として東京駅の設計などに影響を与えた。

◇参加料 2,000円(講演会・交流会共)(講演会のみ参加の方は1,000円)

◇申込方法 電話・FAX・メールで事前申込が必要 定員200名(定員になり次第締切)

◇申込先 北海道文化財保護協会事務局

電話・FAX 011-271-4220

Eメール bunho@abelia.ocn.ne.jp

◇主催 北海道文化財保護協会

◇交流会 講演会 講師 札幌ビール博物館館長 松澤 和則 氏  
演題 “ワインをもっと楽しむために”  
交流会 ビール・ワイン・ソフトドリンク飲み放題(軽食付)

